



齊藤誠教授 (Ph.D. from MIT)

- 私は、マクロ経済学、ファイナンス理論、リスクマネジメントとさまざまな研究をしていますが、最近、国債市場や貨幣市場を組み込んだ新しい貨幣経済モデルによって、昨今の財政金融政策を評価する研究も展開しています。たとえば...
 - Makoto Saito, *Strong Money Demand in Financing War and Peace: The Cases of Wartime and Contemporary Japan*, Springer, August 2021.
 - [なぜ、日本経済は物価が安定し、長期金利が低位なのか？ ～戦中と現在の旺盛な貨幣需要の比較から解明！～](#)で内容が紹介されています。
 - [日本は、第2次世界大戦の戦費をどのように調達し、どのように返済したのか？](#)をYouTubeで見れます。
 - 最近、国際貿易・国際金融の権威ある雑誌 *Journal of International Economics*, 2021に公刊された論文は、名古屋大学の広報からプレスリリースされました。
 - [なぜ米国は外国から莫大な借金をしても維持可能なのか？ 自国通貨で外国から借金できるメリット](#) ("International capital flows, portfolio composition, and the stability of external imbalances," Michael B. Devereux, Makoto Saito, and Changhua Yu)
 - Makoto Saito, On expenditure/income discrepancies in national accounts in the presence of two price units, *Japan and the World Economy*, 2022.
 - 「国債が貨幣と袂を別つ時」、齊藤誠、『金融経済研究』、2023年第46号.
 - 研究書や学術論文だけでなく、一般向けの書籍も公刊しています。最近も、『教養としてのグローバル経済：新しい時代を生き抜く力を培うために』（有斐閣、2021年5月刊）を出版しました。

■ 修士院生の指導方針

【博士後期課程に進学して研究者としての活躍を目指す院生】マクロ経済学と金融理論を専攻する院生に対して、重要な論文を読み込み、必要となる高いレベルの計量手法を訓練し、査読論文掲載を目的とした指導を厳しく行います。

【修士修了後、社会での活躍を目指す院生】私の専門に関わらず、経済学修士取得を目指す院生に対して、論文の読み方、データの取得の方法、基本的な統計処理のトレーニングを行い、適度なレベルの修士論文を仕上げることを目標とします。また、RATSやSTATAの統計パッケージを習得して、レベルの高い実証論文の作成を指導します。

【ゼミナールの使用言語について】私の演習に参加している大学院生は、日本での就職を目指している人が大半なので、使用言語については、日本語を基本とします。ただし、日本語の習熟度合いに応じて、演習報告や論文作成については、英語を使用することを認めています。



Makoto Saito

Strong Money Demand in Financing War and Peace

The Cases of Wartime and Contemporary Japan

Springer